

初年次教育ご担当者様へ

初年次教育 セミナー



たった**一日**で新入生の不安が**自信**に変わる

初年次教育の実践報告



参加無料
※要予約

- ✓退学、留年に対策を講じたい。
 - ✓学習への動機付けを促したい。
 - ✓学びあう仲間づくりの機会を設けたい。
 - ✓早期入学決定者向け入学前教育を導入したい。
- そんな大学様にオススメのイベントです。

形式	定員	日程	時間
対面(東京本社)	20名	6/27(金) ※弊社プログラムの一部体験あり	14:30~17:00
オンライン	30名	6/17(火)・6/23(月)・7/1(火)	15:00~16:30

株式会社ラーニングバリュー

セミナー問い合わせ窓口 担当: 藤田・田代

seminar-cd@l-value.jp

退学抑止のポイントは 「新入生の大学適応」にあり。

新入生が大学に適応し、充実した学生生活を送るには、入学初期の過ごし方が鍵になるのではないのでしょうか。弊社は200校を超える大学・短期大学様と入学時ガイダンスや初年次教育・キャリア教育の充実を図って参りました。2020年度からはオンラインでのプログラム提供にも対応いたしました。本セミナーでは、「自己の探求」をはじめとした弊社プログラムの導入事例、導入いただいた学校様における取り組み内容や、その後の大学教育活動への接続等ご紹介させていただきます。

「自己の探求」プログラムの導入事例および大学適応への効果

A大学

●導入の狙い

コミュニケーションに苦手意識を持つ理系学生の不安解消、不本意入学者の意識変容を図る。

B大学

●導入の狙い

キーワードは「チームビルディング」。初年次の退学率減少につながる教育の仕掛けと展開。

C大学

●導入の狙い

入学前教育と初年次教育をつなぎ、学生のモチベーション向上を図る。

【プログラム参加者の感想】【学生】●新しい友人を作る良いきっかけになった ●コミュニケーションが苦手でも楽しく参加できた ●自分のどういう所を活かせるのか知ることができて良かった ●オンラインとはいえ、同じ学科の人と話す貴重な機会になった。様々な価値観、考え方を知ることができて良かった 【見学した教員】●異質な人同士でグループを組む仕組みになっており、終了後にコミュニケーションが取れていない学生がいないように見えた ●体験後の演習で学生同士で話し合うことが増えている ●自分の意見を述べられるようになっている ●授業開始後もクラス内での発言は活発。孤立する学生もいない

【大学適応への効果】

「自己の探求」プログラムを受講した大学生には右に示す各要素の変容が見られ、それらは同時に体験される可能性が高いと考えられています。

自己理解

●自己受容 ●問題解決 ●目標の達成と創造 ●広い視野の獲得

他者理解

●他者の受容 ●他者への信頼 ●自己開示 ●他者の尊重

学校理解

●学校での友人づくり ●学業への興味 ●学校への適応

セミナーでは上記以外にもさまざまな事例をご紹介します。

セミナーの 主 な 内 容

- テーマ別実践事例の報告(複数校)
- 弊社プログラムの一部体験(対面開催の場合)
- 質疑応答 ※内容は変更の可能性があります。

申込み方法

右記のQRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください。
読み込めない場合は下記アドレス宛にメールでお申込みください。



セミナー問い合わせ窓口

担当: 藤田・田代

seminar-cd@l-value.jp

※テレワーク中につき、お問い合わせは上記メールアドレスにご連絡ください。